

学校生活における新型コロナウイルス対策の取り組み

給食時の確認【安全な食事をするために】

学校生活の中で一番気をつけなければいけない時間です。楽しい時間でもありますが、予防対策に意識を持ちましょう！食べるという事は、口を開けるという事。ウイルスを口に入れないためにも、対応方法をしっかりと守りましょう。

【給食時間に気をつけたいこと】

- ①手洗いをしっかりし、ハンカチで拭き取る。
(マスクは「いただきます」までははずさない!) ※マスクは清潔な手で触る。
- ②ランチマットを敷いて、コップと歯ブラシを用意する。
担任が机間を回って手指アルコールで消毒する。
- ③机は正面を向いた状態。また、飛沫防止のため、食べながらの会話を控える。
- ④給食当番が盛付・配膳を担当する。ペットボトルの水を各コップへ注ぐ。
他の人は着席して待つ。(人との接触を少なくするため。)
- ⑤配られたものを「減らす」のは禁止。食べきれないものは残す。
- ⑥「おかわり(ふやす)」の盛付は担任が行う。希望する人の場所へ教師が行き、盛り付ける。
- ⑦食べ終わった順に食器の片付けを各自が行う。食器・牛乳パックはまとめない。混雑しないように気をつける。(一斉に「ごちそうさま」はしない。)
- ⑧片付け完了後は、おしぼりで手を拭き、歯みがきをし、口をゆすぐ。
- ⑨歯みがき終了後、すぐにマスクを着用し、座って静かに待つ。
- ⑩12時55分には、食器などをコンテナに片づけ始めるようにする。
- ⑪キッチンペーパーで配膳台を拭き取る。(担任)

〈ポイント〉

食品を扱うため、この活動は特に注意が必要です。手洗いは勿論、飛沫防止を意識した行動を心がけましょう。また、配膳は当番のみが行い、多数の人が食器に触れないように配膳することを意識しましょう。混雑を緩和するため、食べ終わり食器を片付けた人から順に、歯みがきを行います。

〈机のレイアウト〉



布を敷いた上に配膳します。